



## 生育は前進傾向で品質良好 日本一の夏ねぎ産地が試食宣伝会を開催

茨城県JA岩井「初夏ねぎ浴衣DEキャンペーン」2018

- 期日：6月19日(火)
- 場所：大田市場 ㈱東京青果
- 主催：JA岩井
- 内容：初夏ねぎの試食宣伝によるPR

### ■こだわりの初夏ねぎを試食宣伝でPR!

茨城県のJA岩井が、大田市場内の㈱東京青果で試食宣伝会を開催しました。JA岩井は周年でねぎの出荷を行っており、中でも夏ねぎでは日本一の産地となっています。その出荷量は、5月～9月で170万ケース、年間では210万ケースにもなります。出荷されているねぎは、6月まではトンネル栽培のもので、7月以降は露地栽培のものに切り替わるとのことです。また、6月いっぱいまでの夏ねぎは「初夏ねぎ」として出荷されています。今回の試食宣伝会では、初夏ねぎの味噌汁とメンマ和えが提供され、市場関係者からも「シャキシャキとした食感がいい」などと好評を得ていました。また、当日はJA岩井の女性職員や、夏ねぎのイメージガールを務める古城優菜さんが浴衣姿で登場し、来場者の注目を集めていました。JA岩井の担当者によると、「今年の生育は気温高により前進傾向で、品質は良好で平年並みの出荷量を見込んでいる」とのことでした。

### ■作り方にこだわった「野菜名人ねぎ」もPR!

JA岩井では、生産されるねぎのなかでも、肥料と土にこだわり防除を最低限にするほか、土寄せを通常よりも1回増やして軟白部を長くしたものを「野菜名人ねぎ」として出荷しています。「野菜名人ねぎ」については、栽培方法だけでなく出荷箱も通常のものとはデザインを変えることで、レギュラー品との差別化を図っています。「野菜名人ねぎ」の生産者は、JA全体で約350名いるねぎ生産者のうち20名しかおらず、生産は挙手制となっています。栽培方法については、生産を申し出た生産者に対して、既存の野菜名人ねぎ生産者が指導を行っています。このように、「安心・安全・健康」にこだわって栽培された「野菜名人ねぎ」は、味と香りがしっかりしており、市場でも好評を得ています。



ブースの様子



「野菜名人ねぎ」専用の箱



挨拶をする風見組合長と  
イメージガールの古城氏



提供されたねぎの味噌汁とメンマ和え